

みんなの目・芽・めっ No.106

2019年/7月

発行 特定非営利活動法人住みよいあさくらをめぐす風おこしの会 理事長 星野洋子 事務局 大石 ☎ 0946-42-4790

風おこしの会 2019年度 総会

本年度スローガン

- ・男女共同参画の視点からの防災・復興に取り組もう！
- ・女性リーダーを増やし地域力を高めよう！

6月1日土曜日ピーポート甘木で2019年度の総会を開催しました。出席者53名(参加者19名、委任状34名)。4月の統一地方選挙の関係から、例年より時期を遅らせた総会となりました。来賓として朝倉市総務部石井部長にご出席いただきご挨拶を頂戴しました。

本年度は役員改選の年。役員改選を加え6項目の議案はすべて承認可決されました。会員の高齢化で理事や実行委員の固定化を余儀なくされている中、理事一人が交代し後は前年度の役員が引き続き務めることになりました。

九州北部豪雨から二年。昨年の西日本豪雨では筑前町も被災しました。この二年間、風おこしフォーラムでは2017年度、2018年度と「災害と男女共同参画」をテーマに取り上げ、更に2018年度は人材育成講座「元気塾」を朝倉市郡の行政と実行委員会を組み一年間の講座に取り組みました。



いうまでもなく、災害復興は地域の最重要課題です。国では平成17年に、防災基本計画に男女共同参画の視点を初めて盛り込み、男女共同参画基本計画(第2次)において、新たな取組を必要とする分野の一つとして防災(災害復興を含む)を位置付けています。また、平成22年の第3次計画では、「地域、防災・環境その他の分野における男女共同参画の推進」を新たに重点分野の一つと位置付けて推進を図るとされています。そして、平成25年の男女共同参画の視点からの防災・復興の取組指針では、7項目の基本的な考えの中で「**平常時からの男女共同参画の推進が防災復興の基盤となる**」と記されており、災害に強い社会の構築には、男女共同参画社会の実現が不可欠であることが述べられています。

しかし、現実にこれが進められているかは疑問です。災害が非日常ではなくなった今、また、加速化する少子高齢化、人口減少の中、私たちは危機感を持ってこれに当たらなければならないでしょう。第4次男女共同参画基本計画では(平成27年) **社会全体で取り組むべき最重要課題である**としています。社会を構成し支えているのは私たち住民に他なりません。年齢や性別に関係なく老若男女すべての人がこの現状に向きあい、多様な知恵や力を出し合って、これからの新しい社会をつくっていく必要があります。高齢化を余儀なくされている私たちですが、やはり活動の歩みを止めるわけにはいきません。そんな思いであります。

(理事長 星野洋子)

報 告

2018年度『元気塾』の取り組み

例年、総会后に40~50分ほど研修の時間を持っていますが、今年は昨年度の「元気塾」の取組について報告することになりました。

私たちの元気塾は7月~1月の間に6回講座を持ちました。テーマは「実践 命を守る防災力講座~被災した地域だからこそ伝えよう~」。組織は事務局5名（行政4名・風おこしの会1名）、実行委員会15名（産官学民を網羅 男性6名女性9名）、塾生42名（男性女性・40代~70代）です

講座内容は、まず専門家から「朝倉の地形や地質について」や、「大災害に備える ~高齢者・障がい者・こども・男女共同参画の視点から~」などの話を聞きました。今まで知らなかったり考えていなかったりしたことをたくさん知ることができました。

また被害が大きかった東峰・杷木・高木・朝倉各地域の被災者から、発災時の行動や思いを、地区コミュニティや行政担当課からは防災組織の取組の現状を話していただきました。被災のとらえ方も地域防災の考えも、直接被災しなかった自分自身の甘さを強く感じました。

そして、「3日間生き抜くためのサバイバル技術」や「避難所運営ゲーム HUG」に挑戦しました。たとえ、きわめて小さな体験ではあっても臨場感を持って体験したことはきっと役立つと思いました。

地域の実態を知り、新たな防災（男女共同参画の視点 自助・共助・公助）の重要性を知ることができました。

（森部佐和子）



報 告

『集い』の開催(令和元年6月1日)

住みよいあさくらをめぐす風おこしの会総会后に(近くの)里川海で昼食をしながら行いました。会員の皆さんの予定があり、参加者は20名弱で少なく残念でした。

この4月県議会に初当選された中嶋玲子さんは、筑前町文化協会総会に招待されており早めに帰られました。最高齢の多田悦子さんは夫さんを介護中とのことでしたが、元気な姿を見せてくださり、その話しぶりに以前と変わらない情熱を感じました。平田梯子さんは風おこしの会との提携事業の考えを、また坂本康子さんは2年前の豪雨災害後、復興に向け東峰村でしっかりがんばっておられる様子を話されました。

昼食を兼ねての短い時間でしたが、わいわいがやがやと食事をし、各々の近況やこれからの会のことなど、あちこちで話が飛び交いました。こうして笑い声に包まれた中に集いを終えました。

またの集いを沢山の人が...と。 (大石美代子)

風おこしの会 2019年度 事業計画

- ◇ 風おこしフォーラム 2020年2月予定
- ◇ 男女共同参画出前講座 各団体からの要請により実施
- ◇ 視察・交流・研修・意見交換
- ◇ 情報紙「みんなの目・芽・めっ」発行 必要に応じて「目・芽・めっピックス」発行
- ◇ 「風」2号の発行

報 告 「中嶋玲子県議の6月議会における一般質問傍聴」

中嶋玲子さんが県議会議員に就任されて初めての一般質問を6月24日午後1時頃から傍聴。当日は受付で中嶋さんご本人が入場券を人数分（北筑後ブロック翼の会研修としての参加者も含めて14～15人）手配してくださっていたのでスムーズに傍聴席に。

中嶋さんは民主県政県議団の代表質問者として登壇。内容は選挙公約であった「九州北部豪雨被災者に対する生活再建支援について」。

質問時間の流れ：中嶋議員⇒小川知事⇒中嶋議員…約25分間

災害仮設住宅の居住期限が迫っているが遅々として進まない行政の対応へのもどかしさや、特に多くの高齢者の生活再建が困難な現状を当事者の気持ちに沿って訴えられた。国が法律的に対応できないというのであれば県や市独自の対応の検討を強く希望。和歌山県や長崎県、熊本地震後の熊本県などの自治体独自の対応で未再建者のための入居延長を可能にした前例をあげ、福岡県でも自治体独自の事業として未再建者の生活再建支援を要求。それでも知事の答弁はマスコミで報道され誰でもが理解している内容とほぼ変わらなかった。しかしながら「内閣総理大臣との協議ができるかどうか問い合わせてみる」との知事の言葉は強く可能性を感じた記憶として残った。また、新聞に発表された朝倉市のデータ集計再建世帯92%は疑問と中嶋さんは投げかけた。

拍手や歓声はしないと傍聴者の留意点に明記されているにもかかわらず、中嶋さんの質問への賛同と激励と思われる「がんばれ！」や議員席と傍聴席からの何度もの拍手は未再建の方々への激励でもあるのではないかな。

二階の傍聴席から議場を見渡すと議員席の空席が目立った。名前札が倒れている席が欠席だとすれば87名中約22名は欠席（傍聴席からカウントした人数が正しければ）。また、議員の男女比率は調査結果通り女性約10%。県側執行部の男女比率も10%あまりと議員とほぼ変わらない。そうした中で地元の中嶋玲子さんは、今後の福岡県議会議員としての活躍に期待が高まる。福岡県議会棟は建物の大きさはもちろん議場も広く、警備の物々しさと威厳を感じさせた。しかし政治が私たちの生活、暮らしを決めていると改めて実感させられた。（内山育子）

情報！

◇ 映画上映会「うさぎドロップ」※主演:松山ケンイチ 芦田愛菜 (2011年作品)

8/23(金)19:00~21:30 らくゆう館文化ホール 料金無料

(問合先 朝倉市女性センターあすみん 0946-62-3375 または朝倉市人権・同和対策課 0946-28-7861)

◇ 「ドローン講座」

8/24(土)9:00~12:00 13:00~16:00 定員午前午後各6名 受講料300円

(問合先 筑前町男女共同参画センターリブラ 0946-22-3996)

◇ 働きたいと願う方のための就業支援セミナー「パソコンエクセル3級検定対策講座」

10/5~11/30(毎週土曜日 10:00~15:00 全8回)定員15名

受講料3,000円(別途テキスト代必要) 受験料5,250円(試験日:11月30日 会場:リブラ)

申し込み多数の場合抽選・町内在住者優先(問合先 筑前町男女共同参画センターリブラ 0946-22-3996)

◇ 就労支援事業 資格取得講座「介護事務管理士」

10/12~11/23(毎週土曜日 10:00~15:00 全6回)定員15名 受講料3,250円(教材代・検定料別)

(問合先 朝倉市女性センターあすみん 0946-62-3375)

◇ 就労支援事業 資格取得講座「パソコンワード CS3級検定対策講座」

10/26~11/30(毎週土曜日 10:00~15:00 全6回)定員15名 受講料3,000円(教材代・検定料別)

(問合先 朝倉市女性センターあすみん 0946-62-3375)

風の音

テレビを見ながら晩ごはんを食べていた夫が突然「すごい！！」と叫んだ。ん？何ごと？画面には白いスーツのきれいな女の人が映ってる。テロップが流れる…ふおんであらいえん…さん？EU 委員会は次期委員長にフォンデアライエン氏を選出、初の女性 EU 委員長と。夫がさらに叫ぶ、「この人、子どもが7人いるんだって！」元産科医、2005年からメルケル政権下で閣僚を務め13年からドイツ国防相、今年11月からEU委員長就任予定とか。7人子どもがいてこんなにきれいで細くて…いやそこではなくて、妊娠出産育児がキャリアに全く影響しないってさすがドイツ！と、ごはんを食べるのも忘れて夫と二人しばし呆然としました。(高木静子)

編集後記

一昨年同様に水害を心配していましたが、空梅雨というか、逆に水不足が心配になりました。しかし7月に入り適当に降雨があり安心しました。本年度初の「目・芽・めっ」発行が遅くなりましたこと、お詫びいたします。

会の情報発信です。これからもお目通しをよろしくお願いします。

(大石美代子)

携帯やスマホから QR コードアプリを使って右の QR コードを読み込めば、風おこしの会のサイトへ簡単にアクセスできます。ぜひ試してみてください！



←フェイスブック
風おこしの会 HP→

